

【インフラ管理DX】 公開API説明資料

目次

1. 前提条件
2. 連携方式
3. 各APIの個別仕様詳細
4. ご参考

ご提供するドキュメント一覧

No.	資料名	備考
1	【インフラ管理DX】公開API説明資料	当資料となります。
2	【インフラ管理DX】【補足】認証機能説明	認証系APIに関する説明資料となります。
3	openapi_infradx.html	認証系以外のAPIの仕様書となります。 (【インフラ管理DX】【補足】認証機能説明のシーケンス図③⑦に該当する部分)



1.前提条件



1.1. API概要

インフラ管理DXシステムよりAPIを通じて連携される情報は以下の2種類となります。

埋設物情報

リクエストで指定された範囲内の埋設物有無、埋設物が存在する場合は埋設物を構成する空間ID、埋設物を提供するインフラ事業者ID、埋設物の属性情報を連携します。

なお、本連携はレスポンスデータ量が多いため、各API利用者のアプリにて必要な範囲の広さによっては複数回APIを実行いただく必要があります。1度で必要な範囲のデータを取得できるようバッチ方式も用意します。

- ✓ オンライン方式(リアルタイム連携)
- ✓ バッチ方式(随時実行)

イベント情報

指定した範囲内のイベント情報(断水などの情報)を連携します。

- ✓ オンライン方式(リアルタイム連携)

インフラ管理DXシステムが提供するAPI一覧は以下の通りです。なお、各社専用のAPIはなく、以下APIを各社に共同利用いただきます。

No.	APIカテゴリ	API名	説明
1	INDX_0010.地下埋設物照会業務	<u>GUF_0010.埋設物情報取得</u>	埋設物情報の連携をオンラインで行うAPIです。 リクエストパラメータは以下2つを用意しておりますので、いずれかをセットして利用ください。 レスポンスデータは空間IDのみとなります。 <ul style="list-style-type: none">・ 空間ID・ GeoJson
2		<u>GUF_0030.埋設物情報取得受付</u>	埋設物情報を非同期でファイル連携するためのAPIです。 リクエストパラメータ、レスポンスデータは空間IDのみです。
3	INDX_0012.イベント情報照会業務	<u>GEI_0010.イベント情報取得</u>	イベント情報の連携をオンラインで行うAPIです。 リクエストパラメータ、レスポンスデータは空間IDのみです。
4	INDX_0018.出力ファイル取得業務	<u>GOF_0010.ファイル作成状況確認</u>	GUF_0030.埋設物情報取得受付のレスポンスファイルの作成状況確認およびファイルへのアクセスURLを取得するAPIです。

1.2. 共通事項説明 (1/4)

全APIでの共通事項を以下に示します。

大分類	小分類	詳細
共通	認証方式	クライアント・クレデンシャルズフローを利用したアクセストークン方式です。 詳細は「【インフラ管理DX】 【補足】 認証機能説明」をご参照ください。
	リクエスト	<ul style="list-style-type: none">リクエストはヘッダーやボディなどを含めて8KBまでとなります。クエリパラメータはエンコードなし、一度エンコードしたパラメータのみ許容します。空間IDの配列をAPIの必須リクエストパラメータとして利用いただきます。 公開されている変換ライブラリがありますので、そちらをご利用ください。(1.6.参考情報(2/3)に記載しております。)GUF_0010.埋設物情報取得に限り、GeoJsonでのリクエストを受け付けます。 (GeoJsonを用いた利用ユースケースが多いと予想されるため。)リクエストで指定する空間IDの合計範囲(m)は後述で記載する値以内となるよう設定してください。 (GUF_0010.埋設物情報取得の場合、ZL18の空間IDを2つやZL19の空間ID5つをリクエストするとエラーになります。)レスポンスの空間IDは全て同じズームレベル（以降、ZL）で返ります。レスポンスZLを指定した場合は指定値で、 未指定の場合は細かいZLで返ります。 (未指定時、GUF_0010.埋設物情報取得はZL26、GEI_0010.イベント情報取得はZL20で返ります。)リクエストする空間IDは原則隣接したボクセルのみとすることを推奨いたします。 詳細は「1.2.共通事項説明(3/4)」、「1.2.共通事項説明(4/4)」に記載します。実態は同じ空間ID情報でも、リクエストの仕方によってはレスポンス遅延、または返らない可能性があります。 例えば、「ZL16の1ボクセルをリクエストした場合」と「ZL16の同じ1ボクセルに含まれるZL17の4ボクセル」では、リクエストする空間IDの実態は同じですが、前者の方が処理が早く、後者の方が処理が遅くなる傾向となっております。

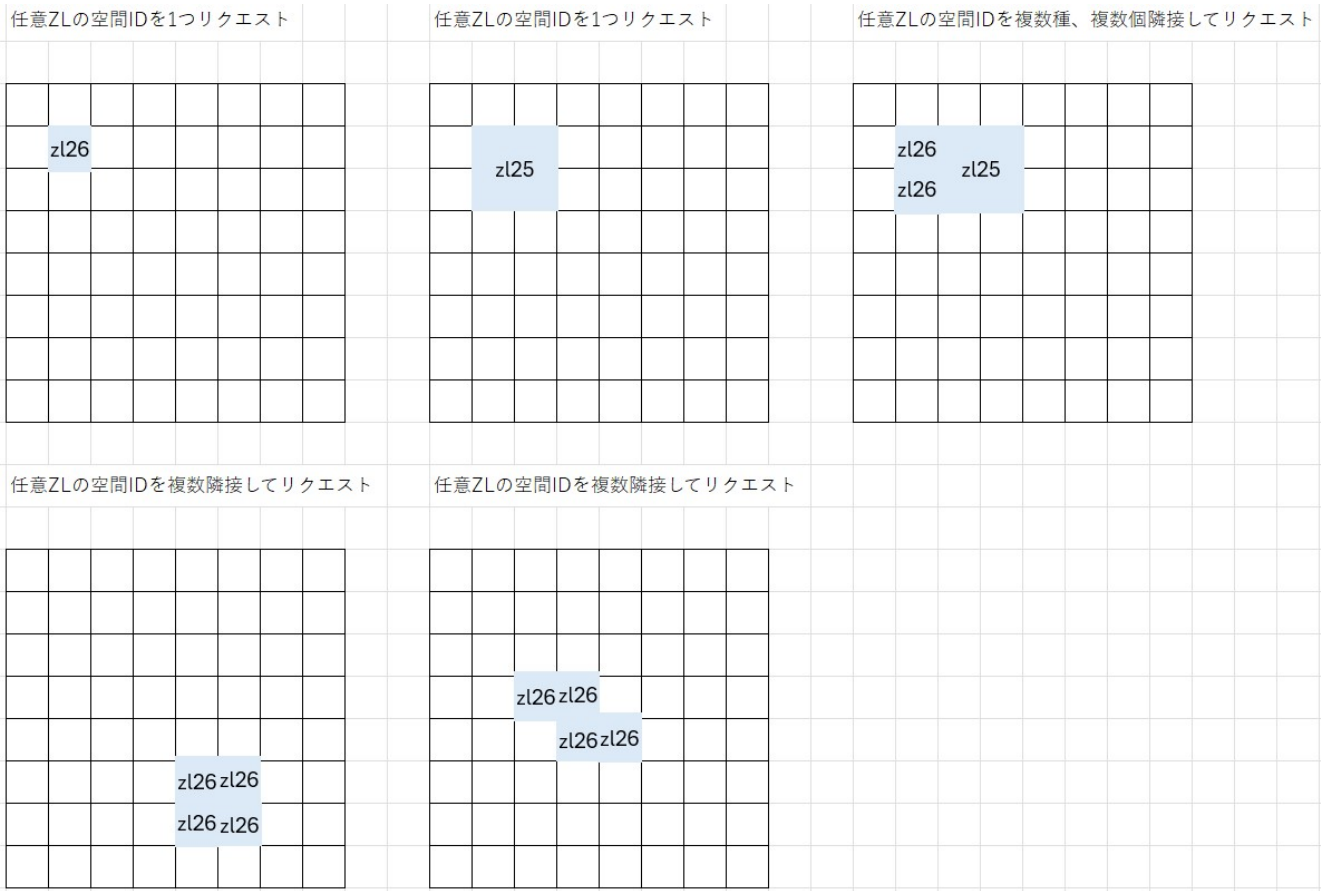
1.2. 共通事項説明（2/4）

全APIでの共通事項を以下に示します。

大分類	小分類	詳細
共通	レスポンス	<ul style="list-style-type: none">• リクエストパラメータで受け取った範囲に紐づき、かつ、インフラ管理DXシステムがその時点で保有する埋設物情報や属性情報、イベント情報を返却します。• 以下の場合、空間IDは返却しません。<ul style="list-style-type: none">- 埋設物や属性、イベント情報がない場合- インフラ事業者にて定めるアシュアランス設定が非公開、もしくは、未設定の場合• リクエストパラメータで指定した「レスポンスZL」のボクセルを必ず返せるわけではありません。 インフラ事業者にて定めるアシュアランス設定に応じたZLで返却します。 リクエストパラメータの「レスポンスZL」より「アシュアランスで設定したZL」が粗い場合、後者が優先されます。 例：「リクエストパラメータのレスポンスZL」が25、「アシュアランスで設定したZL」が21の場合、21で返します。 「リクエストパラメータのレスポンスZL」が23、「アシュアランスで設定したZL」が26の場合、23で返します。• レスポンスZLの指定がない場合はアシュアランスレベルで設定された値のZLで返します。 例：「アシュアランスレベルで設定したZL」が22の場合、22で返します。• 共通的なAPIとなっているため、不要な項目も連携される場合があります。その場合は不要なキーとバリューを無視してください。

1.2. 共通事項説明 (3/4)

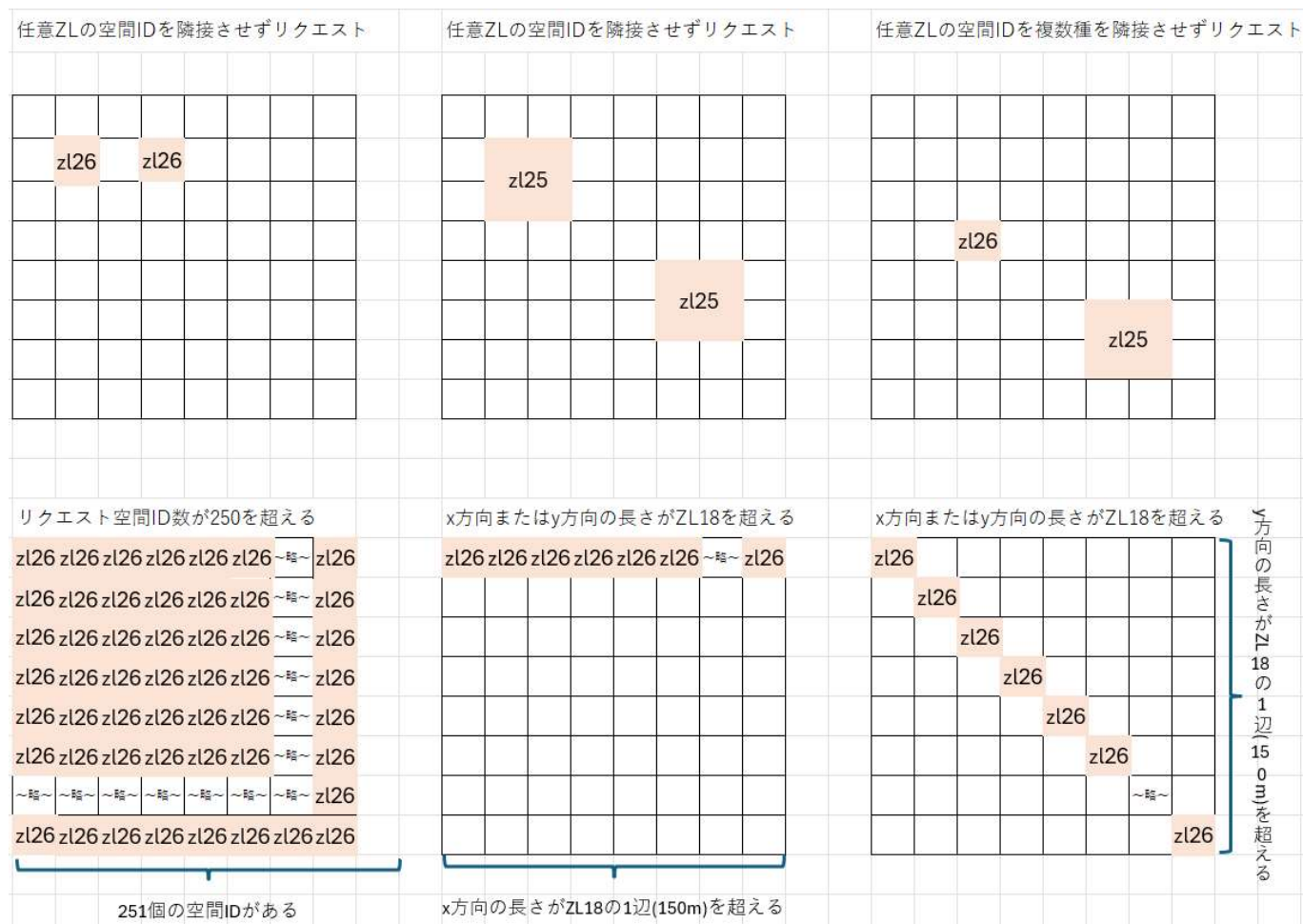
可能な限り順守いただきたい制約として、リクエストの空間IDは隣接したものとさせていただきます。
推奨例は以下の通りです。



※推奨例通りであってもデータの状況等によってはレスポンスが遅い、または返らない可能性があります。 7

1.2. 共通事項説明 (4/4)

非推奨例は以下の通りで、レスポンスが遅い、または返らない可能性がございます。



※推奨例通りであってもデータの状況等によってはレスポンスが遅い、または返らない可能性がございます。⁸

1.3. 認証について

認証の前提条件を以下に示します。

大分類	小分類	詳細
事前申請	—	API利用を希望する者はインフラ管理DX運営者に事前申請を行う必要があります。 事前申請を実施すると、「事業者アカウント」「APIKey」が発行されます。インフラ管理DXでは、以下の情報を基に認証を行います。 <ul style="list-style-type: none">・事前申請に基づいて発行されている事業者アカウントであること。・事前申請に基づいて発行されているAPIKeyであること。・事前申請されたIPアドレスからリクエストされていること。
アクセストークン	保管方法	アクセストークンは各アプリケーションで保管をお願いいたします。
	期限	アクセストークンの期限は約1時間です。
	リフレッシュトークン	発行しません。再度、トークン新規発行してください。
API利用アプリ内認証	—	API利用アプリ内のユーザ認証は各アプリで実施をお願いいたします。

1.4. オンライン方式APIについて (1/2)

大分類	小分類	詳細
オンライン方式 (リアルタイム連携)	APIの種類	<p>以下2つのAPIを提供します。</p> <p><u>GUF 0010.埋設物情報取得</u> 指定した範囲内の埋設物有無、埋設物が存在する場合は更にその空間IDとインフラ事業者ID、設備データの属性情報を連携します。</p> <p><u>GEI 0010.イベント情報取得</u> 指定した範囲内のイベント情報を連携します。</p>
	リクエストデータ	<p><u>GUF 0010.埋設物情報取得</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 空間IDの合計範囲は約2万3000㎡(最大ZL18相当)とし、リクエスト可能なZLは18～26とします。(※) 指定可能なレスポンスZLは18～26とします。 <p><u>GEI 0010.イベント情報取得</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 空間IDの合計範囲は約9500万㎡(最大ZL12相当)とし、リクエスト可能なZLは12～20とします。(※) 指定可能なレスポンスZLは12～20とします。
	レスポンスデータ	リクエストパラメータで受け取った範囲に紐づき、かつインフラ管理DXシステムがその時点で保有する埋設物情報や属性情報、イベント情報を返します。
	注意点	<p>以下のようにデータを返却できないケースもあります。</p> <p>①リクエスト範囲に紐づくデータがない場合 空の配列で返却します。</p> <p>②レスポンスデータ量が多い場合 エラーを返します。以下いずれかでご対応をお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 取得範囲を狭める。 ✓ (レスポンスZLを指定できる場合)ZLを荒くする。
	実行可能時間帯	<p><u>GUF 0010.埋設物情報取得</u> 7～24時で実行可能です。</p> <p><u>GEI 0010.イベント情報取得</u> 7～24時で実行可能です。</p>

※最大データ量での目安です。データ量の増減で変動する可能性があります。

1.4. オンライン方式APIについて (2/2)

リクエストパラメータにおける空間IDの上限数をZL毎に記載いたします。

■ GUF_0010.埋設物情報取得

ZL	上限数
18	1
19	4
20	16
21	64
22	250
23	250
24	250
25	250
26	250

■ GEI_0010.イベント情報取得

ZL	上限数
12	1
13	4
14	16
15	64
16	250
17	250
18	250
19	250
20	250

※前述の通り、実態は同じ空間ID情報でも、リクエストの仕方によっては遅延する、または、返らない可能性があります。
例えば、「ZL16を1つリクエストした場合」と「そのZL16に含まれるZL17の4つ」では、リクエストする空間IDの実態は同じですが、前者の方が処理が早く、後者の方が処理が遅くなる可能性が高いです。

※最大データ量での目安です。データ量の増減で変動する可能性があります。

1.5. バッチ方式APIについて (1/2)

大分類	小分類	詳細
バッチ方式 (随時実行)	APIの種類	<p>以下2つのAPIを提供します。</p> <p>GUF_0030.埋設物情報取得受付 指定した範囲内の埋設物有無及び属性情報取得依頼を受け付けます。 1リクエストあたり1つのレスポンスzipファイル(中身はjsonファイル)をバッチで作成します。</p> <p>GOF_0010.ファイル作成状況確認 レスポンスzipファイルの作成状況を確認するAPI、レスポンスファイルを取得するAPIとなります。 レスポンスファイル作成が完了している場合、署名付きURLを返却します。 また、利用者とタスクIDがマッチしているかをチェックし、マッチしない場合はエラーとします。</p>
	リクエストデータ	<p>GUF_0030.埋設物情報取得受付</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間IDの合計範囲は約37万㎡(最大ZL16相当)とし、リクエスト可能なZLは16～26とします。(※) 指定可能なレスポンスZLは16～26とします。 <p>GOF_0010.ファイル作成状況確認</p> <ul style="list-style-type: none"> GUF_0030.埋設物情報取得受付で返却されたタスクIDを設定します。
	注意点	<ul style="list-style-type: none"> ファイル作成の処理が実行されてからレスポンスzipファイル作成が完了するまでの時間は、リクエストパラメータの空間ID(ZL、個数など)、レスポンスZL、データ量、システム負荷状況に依存するため、変動します。 署名付きURLの利用可能時間は「ファイル作成状況確認API」実行から約1時間です。 ファイルが大きすぎてS3に配置できない場合、「ファイル作成状況確認API」でエラーを返します。
	実行可能時間帯	<p>GUF_0030.埋設物情報取得受付 7～24時で実行可能です。</p> <p>GOF_0010.ファイル作成状況確認 7～24時で実行可能です。(ただし、S3へのアクセスは常時可能です。)</p>

※最大データ量での目安です。データ量の増減で変動する可能性があります。

1.5. バッチ方式APIについて（2/2）

リクエストパラメータにおける空間IDの上限数をZL毎に記載いたします。

■ GUF_0030.埋設物情報取得受付

ZL	上限数
16	1
17	4
18	16
19	64
20	250
21	250
22	250
23	250
24	250
25	250
26	250

※前述の通り、実態は同じ空間ID情報でも、リクエストの仕方によっては遅延する、または、

返らない可能性があります。

例えば、「ZL16を1つリクエストした場合」と「そのZL16に含まれるZL17の4つ」では、リクエストする空間IDの実態は同じですが、前者の方が処理が早く、後者の方が処理が遅くなる

可能性が高いです。

※最大データ量での目安です。データ量の増減で変動する可能性があります。

1.6. 参考情報 (1/2)

2023年度作成資料に記載の通り、インフラ管理DXシステムは「空間ID」をAPIパラメータとして利用いただく方針としています。(一部例外あり。)

下記資料下段に、空間IDへの変換ライブラリのリンクが記載されておりますので適宜ご参照ください。

2023年度中に仕様として採用する項目 (案) ④空間情報システムにおける識別子 (空間ID)



特にモビリティの運行等に必要な空間情報流通に係るAPI設計や、時間、緯度、経度及び標高の値を有するデータの蓄積及び伝達を目的に、それらを収集・取得、管理、検索及び統合するシステム（以下、「空間情報システム」）の設計を新たに行う場合は、空間情報システムにおいて標準識別子としてAPIのクエリパラメータに空間IDの採用を図るとともに、空間情報システムのデータベース設計時にはインデックスとして空間IDの列の追加を検討すること。

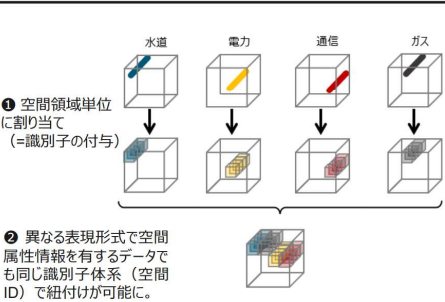
空間IDを用いた異なる空間属性情報の紐付けの概要

- 地球上の特定の空間領域を一意に識別するための識別子であり、データの形態に縛られずに空間属性情報を流通させるための統一的な枠組みのこと。空間領域の単位には、3次元空間を直方格子状に分割した直方体である「ボクセル(voxel)」を用いる。

空間IDに関する共通ライブラリやツール類を提供

- 2023年4月に3次元空間情報基盤アーキテクチャ検討会の成果を4次元時空間情報基盤アーキテクチャガイドライン(β版)として公開。
- 2023年7月に共通ライブラリをOSS (Python版、JavaScript版)として公開。

異なる形式の空間属性情報の空間領域単位への
割り当て (識別子の付与) と紐付けの例



識別子体系 (空間ID)

- 標高、緯度、経度、ズームレベルを設定すれば、IDの決定式に基づいてf, x, yインデックスを一意に計算可能

空間IDの表現形式

{z}/{f}/{x}/{y}

20/1/931369/413142

凡例

{z}:ズームレベル
{f}:鉛直方向 (標高) インデックス
{x}:東西方向 (経度) インデックス
{y}:南北方向 (緯度) インデックス

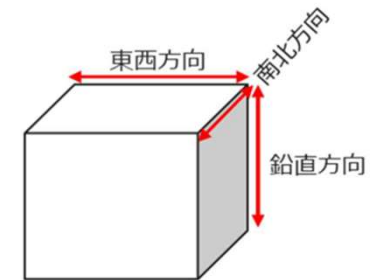


1.6. 参考情報 (2/2)

ZLとボクセルサイズ、面積の参考表です。

引用元：4次元時空間情報基盤 アーキテクチャガイドライン (γ版)

ズームレベル	水平方向		鉛直方向	面積 (km ²)	面積 (m ²)
	東西方向(m)	南北方向(m)			
0	40,075,016.68	40,075,016.68	33,554,432.00	1,606,006,961.9022800	1,606,006,961,902,280.00
1	20,037,508.34	20,037,508.34	16,777,216.00	401,501,740.4755700	401,501,740,475,570.00
2	10,018,754.17	10,018,754.17	8,388,608.00	100,375,435.1188920	100,375,435,118,892.00
3	5,009,377.09	5,009,377.09	4,194,304.00	25,093,858.8298169	25,093,858,829,816.90
4	2,504,688.54	2,504,688.54	2,097,152.00	6,273,464.6824073	6,273,464,682,407.33
5	1,252,344.27	1,252,344.27	1,048,576.00	1,568,366.1706018	1,568,366,170,601.83
6	626,172.14	626,172.14	524,288.00	392,091.5489122	392,091,548,912.18
7	313,086.07	313,086.07	262,144.00	98,022.8872280	98,022,887,228.04
8	156,543.03	156,543.03	131,072.00	24,505.7202416	24,505,720,241.58
9	78,271.52	78,271.52	65,536.00	6,126.4308431	6,126,430,843.11
10	39,135.76	39,135.76	32,768.00	1,531.6077108	1,531,607,710.78
11	19,567.88	19,567.88	16,384.00	382.9019277	382,901,927.69
12	9,783.94	9,783.94	8,192.00	95.7254819	95,725,481.92
13	4,891.97	4,891.97	4,096.00	23.9313705	23,931,370.48
14	2,445.98	2,445.98	2,048.00	5.9828182	5,982,818.16
15	1,222.99	1,222.99	1,024.00	1.4957045	1,495,704.54
16	611.50	611.50	512.00	0.3739323	373,932.25
17	305.75	305.75	256.00	0.0934831	93,483.06
18	152.87	152.87	128.00	0.0233692	23,369.24
19	76.44	76.44	64.00	0.0058431	5,843.07
20	38.22	38.22	32.00	0.0014608	1,460.77
21	19.11	19.11	16.00	0.0003652	365.19
22	9.55	9.55	8.00	0.0000912	91.20
23	4.78	4.78	4.00	0.0000228	22.85
24	2.39	2.39	2.00	0.0000057	5.71
25	1.19	1.19	1.00	0.0000014	1.42
26	0.60	0.60	0.50	0.0000004	0.36





2.連携方式

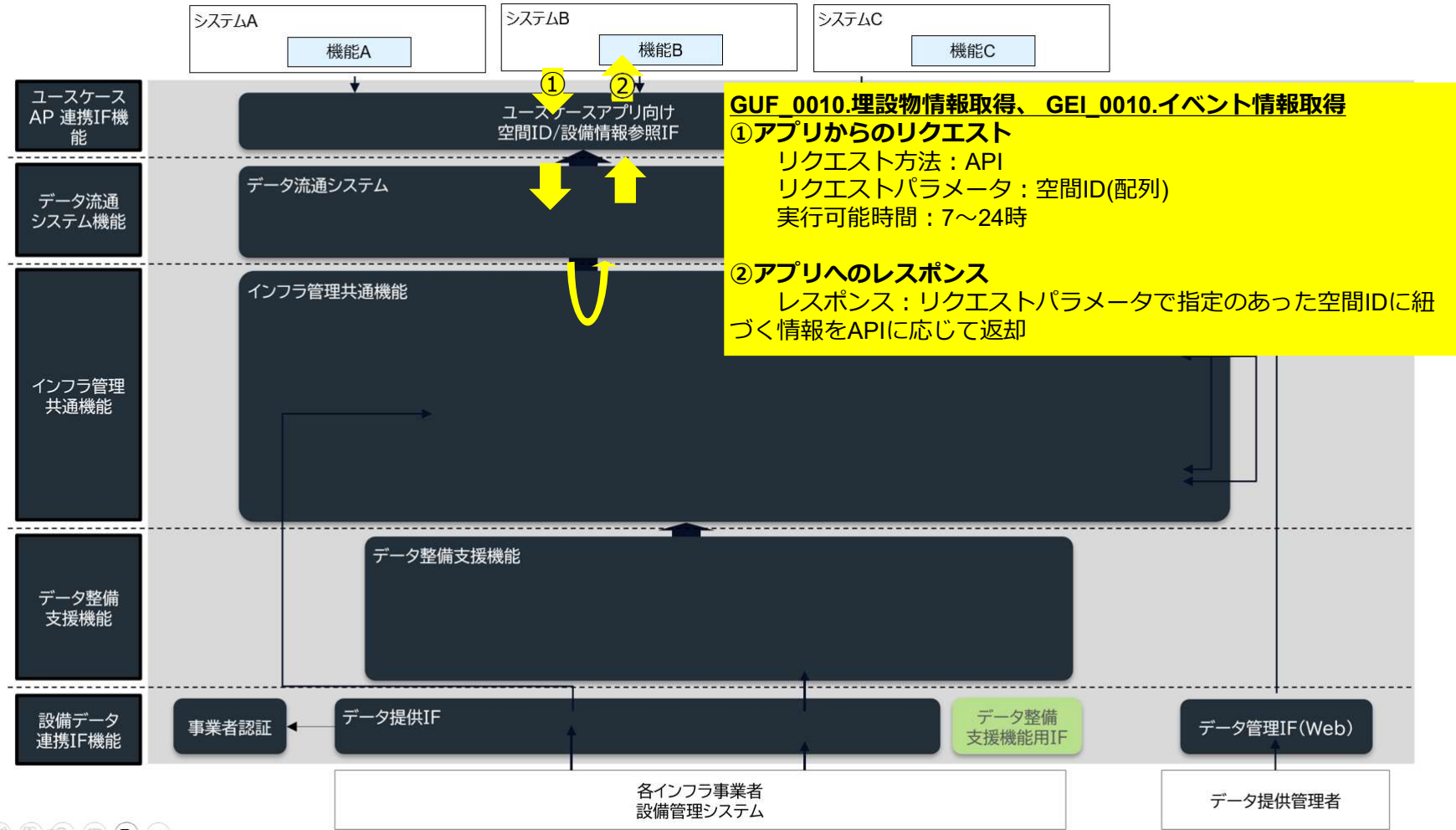
API連携の流れを図示します



2.1. オンライン方式（リクエスト：空間ID、レスポンス：空間ID）

システム構成イメージ

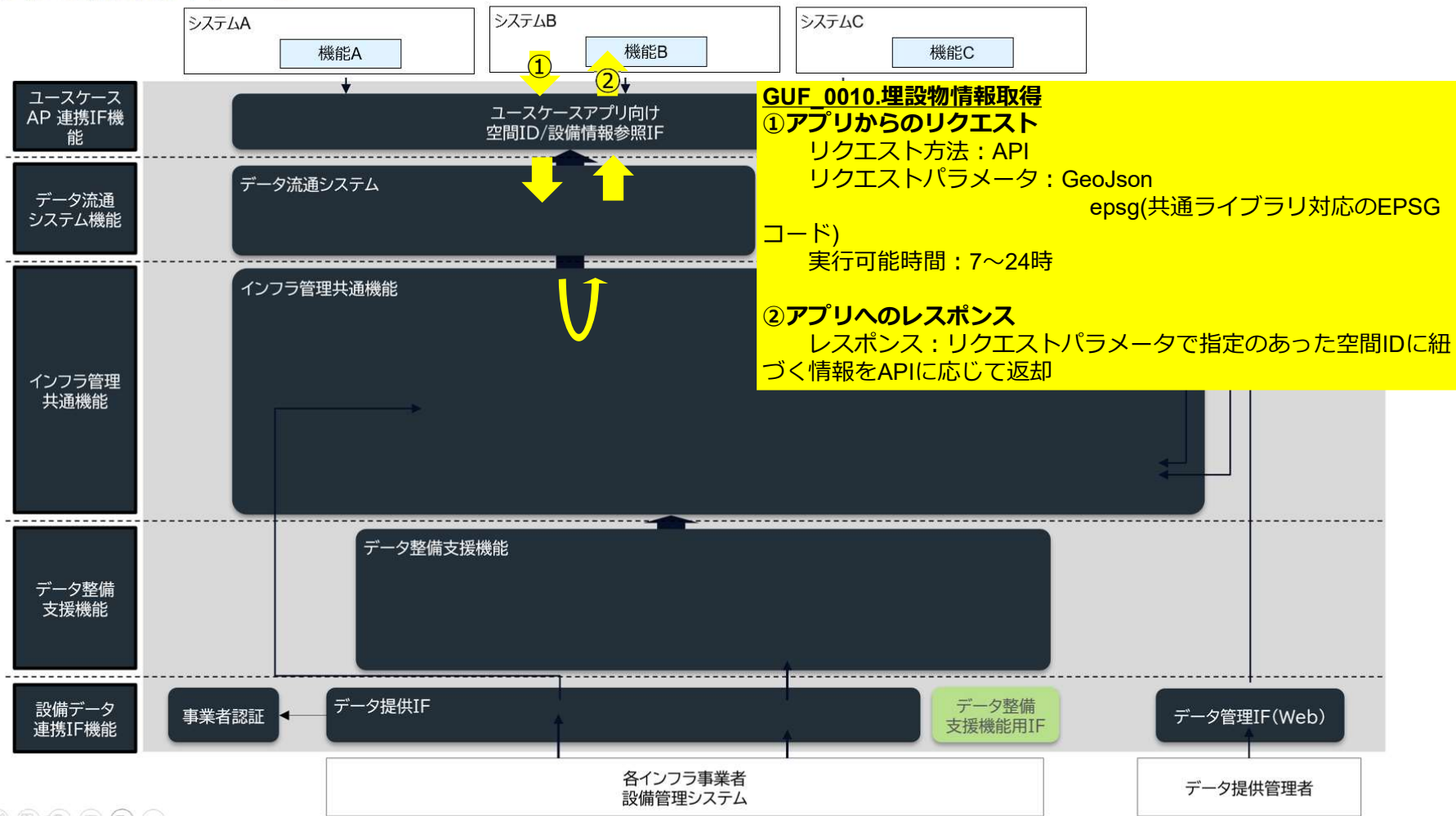
提案資料より



2.2. オンライン方式（リクエスト：GeoJson、レスポンス：空間ID）

システム構成イメージ

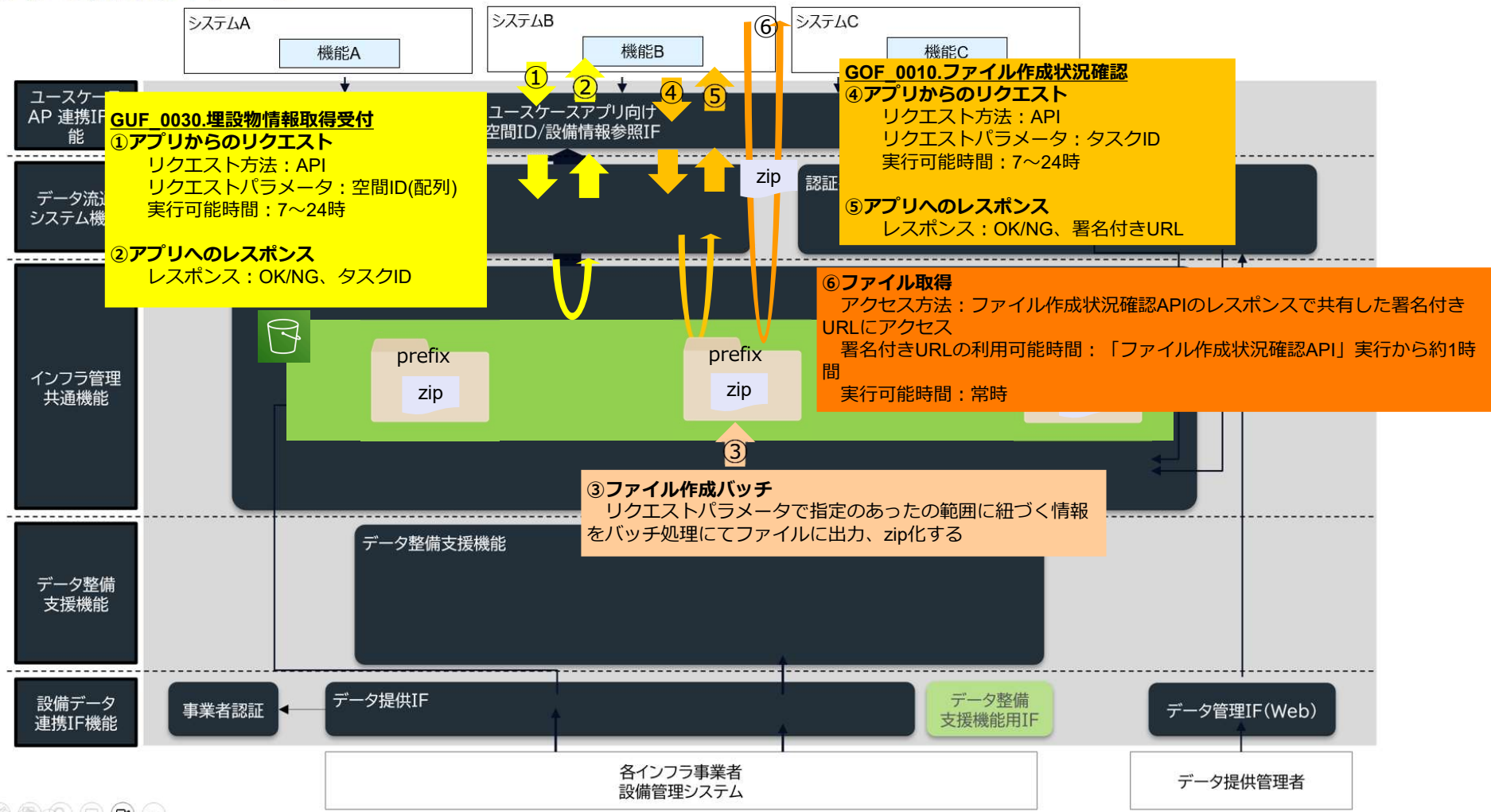
提案資料より



2.3. バッチ方式（リクエスト：空間ID、レスポンス：空間ID）

システム構成イメージ

提案資料より





3.各APIの個別仕様詳細

OpenAPIで表現されていない個別仕様を説明します



3.1. GUF_0010.埋設物情報取得（リクエスト：空間ID、レスポンス：空間ID）

ご留意事項

openapi_infradx.htmlにはAPIの宛先についてパスのみ記載しております。

大分類	小分類	詳細
リクエスト	プロトコル、メソッド、パス	リクエストが空間IDの場合でもGeoJsonの場合でもエンドポイントは変わりません。
	パラメータ	<p>クエリパラメータに以下を設定いただきます。</p> <p>■必須</p> <ul style="list-style-type: none">空間ID(配列)<ul style="list-style-type: none">リクエスト可能なZLは18～26とします。(※)「1.2. 共通事項説明(3/4)」、「1.2. 共通事項説明(4/4)」に記載の通り、リクエスト空間IDは原則隣接したものが推奨となります。「1.4. オンライン方式APIについて(2/2)」に記載の通り、ZLによって配列内の上限個数が変わります。 <p>■任意</p> <ul style="list-style-type: none">レスポンスZL 18～26でご指定ください。更新日時 フォーマットは「yyyy/mm/dd hh:mm:ss」。今後の拡張性を考慮して設けますが、特に意味を持ちません。インフラ事業者ID(配列)
レスポンス	ボディ	<p>埋設物存否、埋設物存在位置情報リスト(インフラ事業者ID、オブジェクトID、オブジェクト名称、データ種別、空間ID(配列)、設備属性(配列※))</p> <p>※属性情報の例は以下の通りです。(属性情報はインフラ事業者が連携するデータに依存します。左記以外の属性情報が連携される可能性もあります)</p> <ul style="list-style-type: none">✓ 管路_土被り✓ 管路_管の径✓ 管路_管の配置状況✓ マンホール(人孔)_土被り✓ マンホール(人孔)_躯体大きさ
	タイムアウト値	300秒

3.2. GUF_0010.埋設物情報取得（リクエスト : GeoJson、レスポンス : 空間ID）（1/2）

ご留意事項

openapi_infradx.htmlにはAPIの宛先についてパスのみ記載しております。

大分類	小分類	詳細																	
リクエスト	プロトコル、メソッド、パス	リクエストが空間IDの場合でもGeoJsonの場合でもエンドポイントは変わりません。																	
	パラメータ	<p>クエリパラメータに以下を設定いただきます。</p> <p>■必須</p> <ul style="list-style-type: none">・GeoJson 座標(配列) リクエストの範囲は20,000㎡まで・epsg 以下で定義された以下7つのEPSGコードのみ利用可能です。 https://ouranos-gex.github.io/ouranos-gex-lib-for-Python/docs/api/_build/html/SpatialId.shape.html#module-SpatialId.shape.point <table><tr><th>CRS(地理座標系)</th><th>EPSGコード</th></tr><tr><td>WGS84(GPS)</td><td>4326</td></tr><tr><td>日本測地系(2011)</td><td>6668</td></tr><tr><td>日本測地系(2011) + (高さ)</td><td>6697</td></tr><tr><td>日本測地系(2000)</td><td>4612</td></tr><tr><td>日本測地系(1892)</td><td>5132</td></tr></table> <table><tr><th>CRS(投影座標系)</th><th>EPSGコード</th></tr><tr><td>Webメルカトル</td><td>3857</td></tr><tr><td>平面直角座標系</td><td>6669～87</td></tr></table> <p>■任意</p> <ul style="list-style-type: none">・レスポンスZL 18～26でご指定ください。・更新日時 →フォーマットは「yyyy/mm/dd hh:mm:ss」。今後の拡張性を考慮して設けますが、特に意味を持ちません。・インフラ事業者ID(配列)	CRS(地理座標系)	EPSGコード	WGS84(GPS)	4326	日本測地系(2011)	6668	日本測地系(2011) + (高さ)	6697	日本測地系(2000)	4612	日本測地系(1892)	5132	CRS(投影座標系)	EPSGコード	Webメルカトル	3857	平面直角座標系
CRS(地理座標系)	EPSGコード																		
WGS84(GPS)	4326																		
日本測地系(2011)	6668																		
日本測地系(2011) + (高さ)	6697																		
日本測地系(2000)	4612																		
日本測地系(1892)	5132																		
CRS(投影座標系)	EPSGコード																		
Webメルカトル	3857																		
平面直角座標系	6669～87																		

3.2. GUF_0010.埋設物情報取得（リクエスト：GeoJson、レスポンス：空間ID）（2/2）

大分類	小分類	詳細
レスポンス	ボディ	埋設物存否、埋設物存在位置情報リスト(インフラ事業者ID、オブジェクトID、オブジェクト名称、データ種別、空間ID(配列)、設備属性(配列※)) ※属性情報の例は以下の通りです。(属性情報はインフラ事業者が連携するデータに依存します。左記以外の属性情報が連携される可能性もあります。) ✓ 管路_土被り ✓ 管路_管の径 ✓ 管路_管の配置状況 ✓ マンホール(人孔)_土被り ✓ マンホール(人孔)_躯体大きさ
	タイムアウト値	300秒

3.3. GEI_0010.イベント情報取得

ご留意事項

openapi_infradx.htmlにはAPIの宛先についてパスのみ記載しております。

大分類	小分類	詳細
リクエスト	パラメータ	<div>■必須<ul style="list-style-type: none">空間ID(配列)<ul style="list-style-type: none">リクエスト可能なZLは12～20とします。(※)「1.2. 共通事項説明(3/4)」、「1.2. 共通事項説明(4/4)」に記載の通り、リクエスト空間IDは原則隣接したものが推奨となります。「1.4. オンライン方式APIについて(2/2)」に記載の通り、ZLによって配列内の上限個数が変わります。</div> <div>■任意<ul style="list-style-type: none">レスポンスZL 12～20でご指定ください。更新日時 フォーマットは「yyyy/mm/dd hh:mm:ss」。今後の拡張性を考慮して設けますが、特に意味を持ちません。インフラ事業者ID(配列)</div>
レスポンス	ボディ	<p>発生しているイベント情報。(イベント情報はインフラ事業者が連携するデータに依存します。)</p> <div>■カラム説明<ul style="list-style-type: none">“eventAttribute”：インフラ事業者が任意に登録する情報で、json形式で当該イベントに対する詳細な情報が設定されます。“eventType”：イベント概要を和名で返却します。以下2つのいずれかとなります。<ul style="list-style-type: none">サービス停止その他被害“eventId”：イベントを一意に識別する値を返却します。返却値は数値で、1から順にインクリメントしていきます。“infraCompanyId”：当該イベント情報を提供しているインフラ事業者のIDを返却します。“sidList”：当該イベントの発生個所を示す空間IDのリストを返却します。</div> <div>■補足<ul style="list-style-type: none">イベント種別は事業者によらない種別とし、「インフラ事業者ID」×「イベント種別」の二つで「どのインフラ事業者がどういう状態になっているか」を表現します。</div>
	タイムアウト値	300秒

3.4. GUF_0030.埋設物情報取得受付（1/2）

大分類	小分類	詳細
リクエスト	パラメータ	<div>■必須<ul style="list-style-type: none">空間ID(配列)<ul style="list-style-type: none">リクエスト可能なZLは16～26とします。(※)「1.2. 共通事項説明(3/4)」、「1.2. 共通事項説明(4/4)」に記載の通り、リクエスト空間IDは原則隣接したものが推奨となります。「1.5. バッチ方式APIについて(2/2)」に記載の通り、ZLによって配列内の上限個数が変わります。</div> <div>■任意<ul style="list-style-type: none">レスポンスZL 16～26でご指定ください。更新日時 →フォーマットは「yyyy/mm/dd hh:mm:ss」。今後の拡張性を考慮して設けますが、特に意味を持ちません。インフラ事業者ID(配列)</div>
レスポンス	ボディ	タスクID ファイル作成状況確認APIのリクエストパラメータになります。
	タイムアウト値	300秒

3.4. GUF_0030.埋設物情報取得受付 (2/2)

レスポンスファイルの内容は、GUF_0010.埋設物情報取得のレスポンスと同内容がjsonファイルへ出力されます。
そのjsonファイルをzip化してS3に配置します。

<埋設物ありの場合>

[タスクID]_location.json [タスクID]_location.zip

```
{
  "isFacilityExist": true,
  "facilitySidList": [
    {
      "dataType": "Update",
      "facilityAttribute": {
        "土被り": 5,
        "管の径": 15,
        "管の配置状況": "exist"
      },
      "infraCompanyId": 12345678901234567000,
      "objectId": "A0001",
      "objectName": "管路",
      "sidList": [
        "24/52/14882510/6607973",
        "24/52/14882404/6607859"
      ]
    }
  ]
}
```

<留意事項>

datatypeについて

「Update」固定。他APIも同様。

<埋設物なしの場合>

[タスクID]_location.json [タスクID]_location.zip

```
{
  "isFacilityExist": false,
  "facilitySidList": [
    null
  ]
}
```

3.5. GOF_0010.ファイル作成状況確認

大分類	小分類	詳細
リクエスト	パラメータ	■必須 ・タスクID 埋設物情報取得受付APIから受け取った値を利用ください。受領していないタスクIDを用いた場合、エラーとなります。
レスポンス	ボディ	・タスク状況 ・署名付きURL 署名付きURLの利用期限は本APIを実行してから約1時間です。
	タイムアウト値	300秒
他	ファイル名	・zipファイル名：[タスクID]_location.zip ・zipファイル内容：jsonファイル

4. ご参考（API宛先URLについて）

APIのアクセスに関する情報について補足いたします。

（[redacted]様向け） コンソB検証環境 接続情報

接続情報を展開致します

■ 接続先

No.	接続先	URL
1	データ流通システム	[redacted]
2	ユーザ認証システム	[redacted]

■ APIキー

APIキー
[redacted]

■ 接続元IPアドレス

IPアドレス
ご連絡いただいた内容を接続元IPアドレスとして登録しております。

■ データ流通システム

認証系以外のAPI(openapi_infradx.html)を利用する際の宛先

■ ユーザ認証システム

認証系API(openapi.html)を利用する際の宛先

※openapi.htmlは以下にてご参照ください。

<https://github.com/ODS-DFS-L3/ic-user-auth/tree/main/docs>



デジタルアーキテクチャデザインセンター
<https://www.ipa.go.jp/dadc>

